

令和2年10月6日

保護者 各位

基山町立若基小学校
校長 本村 一浩

「いじめ、教職員の指導 アンケート」について（報告）

仲秋の候 保護者様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、6月中旬に、標記アンケートをお願いしましたところ、御回答をいただき、ありがとうございました。

いじめについては、いただいた御意見を真摯に受け止め、回答された児童や保護者へ状況をお尋ねし、関係した児童にも確認をしながら指導を行いました。今後も児童が安心して学習に打ち込みのびのびと生活できるよう、継続して見守ったり、必要に応じて指導をしたりしていきます。教職員に関しては、体罰の訴えはありませんでしたが、行き過ぎではないかと思われる指導については、数件訴えがありました。児童と担当教職員に事実確認を行った上で、当該教職員に対して、また、教職員全員に厳しく指導を行いました。

つきましては、アンケートの概要を下記のように報告します。今後、いじめや教職員の指導等で、御心配なことがありましたら、いつでも学校へ御連絡・御相談下さい（92-0410）。御家庭と学校とで協力し、よりよい若基小学校にしていきましょう。

記

■ いじめについて（児童232名に対し、214名の保護者が回答）

	回 答	回答数
①	「いじめを受けている」	5名
②	「いじめを受けたことはあるが、最近はされていない」	12名
③	「いじめを見たりいじめがあると聞いたりしたことがある」	7名

→ それぞれの件について、関係の保護者様・児童への事実確認を行い、児童同士の和解・謝罪、全体への指導を行い、保護者様へ報告をしました。

①、③の具体的な例（個人が特定できないよう、表現は変えています。）

学年	事案の概要
低学年	<ul style="list-style-type: none">・ 上級生に叩かれたりしたことがあるとのことですが、先生に報告済みで、解決してもらっています。・ 昨年度2月に、掃除の時間になっても鬼ごっこを続けていた〇〇さんを注意したところ、蹴られ、後ろから首を絞められる事案が起き、そのときは、解決していただきましたが、今年度になってからもきちんと並ぶように注意したら蹴られたり叩かれたりしたそうです。様子を見守っていただくとありがたいです。・ 本人の話を聞いていると、子供同士ありふれたやり取りに感じるのですが、本人は小馬鹿にされた、と感じているようで、毎日、何らかの嫌な思いをして帰ってきます。言い方を真似されたり、友人が声を掛けてくれなかったりなどの悩みが尽きないようです。 など

<p>中学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上級生の女の子に、本人の生まれたところを馬鹿にされたことがある。 ・ うちの子だけにではないみたいなのですが、暴言や暴力をする子がいるみたいです。それを「いじめ」と自覚しているかどうかは分かりません。 ・ 習字の授業の時に隣の席の子に墨汁を服に散らされ、汚れがひどかった。授業の中でも注意していただけると助かる。 ・ 以前は、うちの子に一方向的に言われていると聞いていましたが、本人にも何かしら原因があつてのことだろうと思います。仲がいい時もある、悪い時もあるのが普通であつて、どこからがいじめになるのか、正直分かりません。 ・ 以前、遊びの仲間に入れてもらえなくて、悲しんでいたことがありました。 ・ 1年生の頃、教科書を破られたり、筆箱を壊されたりした。 ・ 前の学年で、自分が使ったのでもない一輪車を持たされ、強い口調で言われたことにショックを受けたことがありました。 ・ 友人数名に叩かれたり、暴力を受けたりしたことがある。(解決済み) ・ 体操服がなくなったことが、まだ子供の心の中に引っ掛かるものがあるようです。様子を見ていただけたら幸いです。 など
<p>高学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前の学年で、先生に隠れたところで暴言、暴力を受けていた。先生と子供たちで話し合つて解決したようだが、現在はどのように友人関係を築けているのか、関係の子たちを含めて大丈夫なのかは、不明。我が子からは、相談などはない。 ・ ○○君が□□君の背中や肘を殴っていたそうです。いじめのように見えたとのこと。 ・ 最近あまり聞きませんが、兄が昨年、同級生にマウンティング？されていたとのこと。 ・ こういう事案は、片方（我が子）だけでなく、両方の話を聞いて解決できると良いと感じています。 ・ 気になるのは、特定の友達と頻繁にトラブルになること。だけど、仲は良い。 ・ 別の小学校で、LINEによるトラブルがあつたと聞きました。スマホ、タブレットの普及が進み、表に出なくても、いじめは多いと思います。 ・ 悪意はないのかもしれませんが、身体的特徴を言われて傷ついています。我が子からは、「先生にチクつたと思われたくない！から言わないで！」と言われましたが、親としては言いたいです！ など

■ いじめについて（232名中、220名の児童が回答）

	回 答	回答数
①	「今も嫌なことを言われたりされたりしている」	11名
②	「されたことがあるが、今はされていない」	39名
③	「まわりの人で嫌なことを言われたりされたりしている人を知っている」	22名

→ 児童アンケートは無記名（名前を書いてもよい）という形式でしたので、状況や筆跡等で回答した児童が分かる分は、事実確認を行い、和解・謝罪、全体への指導をして保

護者様へ報告しました。特定できない分につきましては、各担任が、上のような事実があるという意識を持って児童を見守るよう心掛けています。

①、③の具体的な例（個人が特定できないよう、表現は変えています。）

学年	事案の概要
低学年	<ul style="list-style-type: none"> 友達にかじられた。 友達をつくりたい。「遊ぼう。」と誘っても無視される。 〇〇さんが話を聞いてくれない。 など
中学年	<ul style="list-style-type: none"> 何もしていないのに、〇〇君から押されたり、意地悪されたり（蹴られたり）する。たまに言い返そうとするけど、怖くてできない。無視されたり、けんかになったりするのが怖い。 前に、泥の付いた草を口に入れられた（いじめというより、いたずらされたような感じ）。 〇〇さんが無視する時があります。 など
高学年	<ul style="list-style-type: none"> 女の子からからかわれることがある。 男の子から、好きな芸能人に関してあだ名を言われた。 前の学年で、一緒に遊んでいる時に、負けたために友達から「おまえ、いらん。」と言われた。 など

■ 教職員の体罰について（児童232名に対し、211名の児童・保護者が回答）

	回 答	回答数
①	「お子さんが体罰を受けたことがある」	0名
②	「お子さん以外の児童が体罰を受けているのを見た・聞いたことがある」	0名
③	「お子さんが、体罰とは思わないが、行き過ぎではないかと思われる指導を受けたことがある」	3名
④	「お子さん以外の児童が、体罰とは思わないが、行き過ぎではないかと思われる指導を受けたことがある」	4名

ご指摘をいただいたものについては、児童や担当教職員に事実確認を行った上で、当該教職員に対して、また、教職員全員に厳しく指導を行いました。その上で保護者様にも報告をしました。

③、④の具体的な例（教職員や個人が特定できないよう、表現は変えています。）

設 問	事案の概要と→その後の指導
③-1	<ul style="list-style-type: none"> 椅子を立つときに机の中に入れなかったら、椅子を取られ、謝って許してもらえらるまで空気椅子。 → 担任の意図としては、昨年度からクラスの数が増え、休み時間に椅子を入れておかないと、ぶつかったりつまずいたりして危険だから、というもの。その意図は十分理解できるが、身体的な苦痛を与える措置をとってはいけなと指導しました。

③-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体罰ではないが、担任の指導の仕方が気になる。できなかつたらペナルティを課す方法はいかがなものか。子供が萎縮しはしないか。温かく子供を分かってくれる安心感の中で、主体性を大事にしてほしい。 <p>→ マイナス面を探り合うような学級の雰囲気にならないように、緊張感で萎縮させるのではなく、「ここを目指していこう！」という前向きな雰囲気づくりを心掛けてほしい、と説諭しました。</p>
③-3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年の時の担任に、社会体育をやめろと言われた時に、すごくつらかった。 <p>→ 数年前の事案であり、当時の担任がすでに他の学校に異動していたことから、当時のつらかった思いを聞き取り、校長の方から不適切な発言を謝罪しました。</p>
④-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近はないが、廊下で大きな声で怒ることがあり、教室にいてもその声が聞こえ、自分のことではないが、怖かった。 <p>→ 時と場所が確定できず、当該の事案を特定することができませんでした。教職員には、職員会議の時にこのようなご意見をいただいたことを伝え、叱責や説諭・指導は必要だが、子供が萎縮するような大声、恫喝的な態度は、教育的効果を生まないし、子供が自分で考えて行動するような態度が育たないことを話しました。今後、気を付けてまいります。</p>
④-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 忘れ物をしたら廊下に立たせたり、他の児童を叱ることで授業が遅れたりしている。 <p>→ 廊下に出すことで児童の学習権を奪うことになるし、立たせたことで忘れ物がなくなっても、根本的な解決にならないことを説諭しました。叱ることで授業が遅れる、という点は、当該児童・担任に確認し、授業の進度に支障をきたすほどの長い時間ではないようでした。</p>
④-3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に、同級生の児童が、担任の先生に口答えしたからか、廊下に立たされた。 <p>→ ④-2と同様、廊下に出すことで児童の学習権を奪うことになることを説諭しました。その子供が納得のいくような話し合い（共通理解の場）を持つことを勧めました。</p>
④-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年の時の担任に、ペンを投げられたり、言葉の暴力を受けたり、ということがあった。 <p>→ ③-3と同様、当事者が本校に在籍していないので、当時のつらかった思いを聞き取り、校長の方から不適切な発言を謝罪しました。</p>

学習の場には、教える者（担任、教科担当）と学ぶ者（児童）という「立場」の差はあり、一定のマナーの中で学習が進んでいきますが、年齢差があっても当然それぞれの「人格」には何の差もなく、平等です。教える者も学ぶ者も、互いの人格を尊重し合い、共に高め合う師弟関係であってほしいと願います。

私が感心したのは、③-1の事案と④-2の事案において、当該児童に聞き取りをした時に、その児童が、担任の意図をちゃんと理解していたことです。単に、「こんなことをされたから嫌だった。」というのではなく、「担任の先生の思いはこうで、それは分かるのだけれど、方法として適切ではないのでは。」という論調で話をしてくれました。物事を冷静に見て、自分の頭で考える態度が育っているなど感じ入りました。